

～ ある日の鬼瓦物産(ファンシー雑貨販売業)その17～

『努力には、正しい努力と間違っただけの努力がある。』

～ 社長室で、くさたべ、鬼瓦社長、デザイン部美樹、ハル(税)夏川担当の会議が続いていた～

鬼瓦社長 | くさたべ。お前は小学校の時、間違えた算数のテスト、家に帰ってからやり直したか？

くさたべ君 | な、なんですか、いきなり。。。でも多分やり直さずに点数だけ見て放り出したような気がします。

鬼瓦社長 | 美樹や夏川君はどうだ？

美樹、夏川秋美 | う～ん。残念だけど、くさたべ君と同じだったような。。。。

くさたべ君 | やっぱ、僕と美樹ちゃん是一緒だ～。

デザイン部美樹 | ちがうって言うてるでしょ。もう、そんなにくっつかないで。少し離れて座ってよ。

ハル(税)夏川秋美 | そ、そうですよ。くさたべさん。一寸、美樹さんにくっつきすぎですよ。
(もう、くさたべさんたら。美樹さんじゃなくて、私にくっついてくれたらいいのに。。。。)

鬼瓦社長 | 俺もそうだし大概はそんなもんだ。でも、そういう事をきちんとやってる奴がいたんだ。クラスでは目立たない感じの岩崎って男だ。この岩崎、学校のテストはさほどでもなかった。だが、校外の模試になると、メチャクチャ良い点をとってくる。奴の前では、クラス一番のガリ勉も肩なしだったよ。

くさたべ君 | 社長。その岩崎さんと、これから僕らのやろうとしてる事と、どう関係があるんですか？

鬼瓦社長 | まだ、わからないのか。。。。岩崎は、天才タイプじゃなかった。勉強の時間だってそんなに違いは無かったと思う。だったら奴の強さの秘密は一体何だ？

ハル(税)夏川秋美 | わかった！間違えてた所をきちんと復習して、次から間違えないようにしたって事ですね。

鬼瓦社長 | それもある。だが、それだけじゃない。奴は「どうして自分が間違えたのか？」をきちんと分析して自分の弱点をつぶしていったんだ。

くさたべ君 | 社長のおっしゃりたい事わかりました。反省が大事って事ですね？

鬼瓦社長 | ちがう。反省したって言うほど売上につながらない。
我々の目標(GOAL)は何なのか？そこに行きつくために何をしなければならないのか？ どうしたら、そこに一番早くたどり着けるのか？を考えることだ。ダンタンが売れなくなってる。そこにくさたべみたいなドン臭い男が営業に行ったら売れるはずがない。やる前からわかっている。だからこそ、さっきの3つの点を真剣に考えていく必要があるんだ。

デザイン部美樹 | 思いつきのまま動いても、また間違えるだけ。きちんとゴールと道筋を定めて、それを紙に表し、常にそれを振り返りながら、やれって事ね。

鬼瓦社長 | ようやく、わかったな。せっかくやるんだから、正しい努力をしないと。間違っただけの努力で時間をムダにしたくない。時間は貴重なんだ。どんなに小さな事でも、きちんと計画にして、その通り遂行するんだ。全てはそこから始まる。